

泉の自治だより

題字は県会議員 岡田 慎先生

No. 31

発行所 泉自治区連合会
発行責任者 連 区 長
事務局 (泉公民館) 竊 町
土 岐 市 泉 中 区
TEL. 55-3653
編集委員長 甲 川 清 治

土岐市民憲章
一、自然を愛し、美しい土岐市をつくりましょう。
一、まきを守り、明るい土岐市をつくりましょう。
一、健康で働き、豊かな土岐市をつくりましょう。
一、教養を高め、伸びゆく土岐市をつくりましょう。
一、力を合わせ、住みよい土岐市をつくりましょう。

回 顧



土岐市議員 佐々木 武彦

泉町にもう一つの公民館がほしい。
こんな町民の要望の実現がいよいよ近づいて来ます。多目的な利用を考え、地域の市の購入について皆さんの協賛をお願いしているところだ。

泉西小学校下(久尻)に候補地が決まり、現在、市当局により、調査・検討が行われています。(2/5現在予定としては、平成七年度中に設計などを終了し、八年度の実現を目指しているところだ。

民有地の買収ということもあり、地権者の方々や地域の協力が不可欠です。内容としては、軽運動のできる体育館的な設備をもった特徴ある広い公民館が考えられています。

最近の新しい公民館は、肥田町と下石町(建築中・三月完成)ですが、肥田町(肥田ライブパーク)は料理教室などのできる設備や舞台付ホールなど、下石町(下石コミュニティセンター)は、音楽活動のできるホールや練習室などの特徴のあるものとなっています。

また、現在の泉公民館も手狭であり、いずれは、もっと特徴をもたせたものに、建替え等が必要にならざるを得ないと思われ、超高齢化社会の中で、近くで利用できる老人福祉センターやデイサービス、気軽に集まれる場所や生涯学習のための場所などの必要性も高まってくると思われ。



土岐市議員 矢島 成剛

この度の阪神大震災で亡くなられた方々のご冥福と一刻も早い復興を心よりお祈り申し上げます。さて、自然現象においては、未だ、人知の及ばざること、大富の白山神社裏の林の市の購入について皆さんの協賛をお願いしているところだ。

また、あの、お気の毒な阪神大震災で考えさせられた防災対策の見直しと強化。なぜか泉町だけない延長保育の早期実現(十二月議会で一般質問を行いました。

最も必要性の高い泉町でなぜ一ヶ所もないのか。今後の取組みなど要望。久尻の「安土桃山文化の里」構想や土岐口の「美濃焼き」構想の問題も、三月議会の一般質問で取り上げました。

「東濃メッセ会場」をはじめ、土岐市側に、陶芸の美術館や世界の名窯の陶器博物館や作陶できる研修施設などが構想されています。しかし、多額の財源問題については、未定となっており、その結果として、構想そのものが実現できなくなる恐れがあります。

また、この研究所にガスを取り入れること、代議士にも働きかけ、文部省まで出かけて行って直接陳情していききたいものです。



土岐市議員 和田 全弘

をされましたが、当初予定どおり大手の東邦ガスが、瀬戸市から下石町まで、はるばる何十キロメートルも都市ガスを引いて来て供給することとなりました。

河合区画整理事業 眼を内に向けて、土岐市の政策決定の過程はどう行なわれているか、概ね民主的に行なわれていると云えます。

区画整理が計画されてから長い年月がたちます。これまで実現できていないのは、住民の合意が十分得られていないこと、区画整理事業は、大震災のあと神戸市などで計画されています。

国では東京一極集中の弊害を是正するため、平成二年に衆参両院が「国会などの移転に関する決議」をし、四年二回、関東大震災七・九濃尾大震災八・四一死者岐阜立、五年には超党派の国会議員でつくる「新首都推進懇談会」が発足し平成八年(七九戸)までに移転候補地を決定すること、首相に提出することを決議し、首相に提出したことにより、これまで夢物語とされてきた首都機能を、東濃西部は、前記の条件をほとんと満たしている。

「首都機能移転」は、国会を中心とする「立法」・成田、東濃地域が誘致期最高裁判所などの「司法」・このまま国の議院が決め、平成八年中にも移転地が決定され、二十一世紀の初め政治都市を作る。移転後の東京は「経済都市」として引き続き世界的にも重要な性が大であると思われる。

三起屋ファミリーカード会員募集中!!

- ① 5%のご優待割引 (食品は除外) 但し、食品についてもカードの使用はできません。
- ② 特別御優待セールへご案内
- ③ 恵那峡ランド・土岐グランドボウル・多治見大映大入場券特別割引

くわしくは 1F・3F サービスコーナーへ



三起屋百貨店

土岐市泉町久尻42-11
TEL 0572-55-5011

主婦の店

いい人・いい街・いい暮らし

毎日が新鮮



DO YOUR SHOPPING HERE PLEASURELY
TOKI SHUFU NO MISE

主婦の店 土岐店グループ
㈱主婦の店土岐店 ㈱サンマート ㈱イーエスシー(A, S, C)



土岐市議会議員 加藤 介

昨年十二月二十二日市議会において第四次総合計画基本構想が議決されました。(平成八年から平成十七年の十年間)

計画策定の意義として、本市は昭和四五年九月に「土岐市総合計画 昭和五三年十月に、第二次土岐市総合計画」昭和五九年十二月に「土岐市総合計画」を策定し、まちの発展を支える基幹産業である陶磁器産業の振興と、都市基盤整備や環境整備、福祉の充実、教育文化の向上などを一体的に進め「文化の香り高い産業都市をめざして」土と炎と緑のまちづくりをあげてきました。しかし、これからは二十一世紀に向けて、国際化、情報化、高齢化等の流れが一層強く押し寄せてくることは容易に想像することができ、また社会、経済情勢の変化を背景に、個性化の進展ニーズの多様化が予想される。

このような状況の中で、多極分散型国土の形成を目指す第四次全国総合開発計画において、名古屋圏は産業技術の中核を形成する圏域として位置づけられ、中でも土岐を含む東濃地域は名古屋圏を先導する研究学園都市構想の推進の場として位置づけられた。

さらに土岐市では、東濃研究学園都市の形成に向けて牽引役となる重点整備地区として「土岐プラズマ、リサーチパーク、コスモサイエンスパーク」が位置づけられ、核融合科学研究所、日本無重量総合研究所が活動を開始している。

また、新たな国土幹線となる東海環状自動車道が土岐市を南北に縦断するルートで都市計画決定されるなど、近年の環境変化には目覚ましいものがある。

これらの動向にあつて、土岐市は解決すべき数多くの課題を抱えているとともに、基幹産業である陶磁器産業を培ってきた、土、人、自然を基礎とした活力と魅力ある都市として、さらなる成長を遂げていく必要がある。

このような認識のもと、二十一世紀に向けて力強く躍進する土岐市を実現するために、平成十七年度を目標年度とする「第四次土岐市総合計画」を策定するものである。尚、第三次総合計画(平成七年迄)の進捗状況は概ね順調に進んでいるものと解されます。

加えて本計画による泉町の展望については現在建設中のものを含めて、次のことが実現されると予想され、先づ駅前区の関係は待望の保健センターが旧土岐津産業の跡地に建設中で、一、二階が保健センター、三階がライオニスセンター、四階はホールと会議室で駅前区のクラブとしての活用できることになっていきます。

竣工は本年九月を予定されています。駅前区の最大の問題は土岐市の表玄関である、土岐市の顔でもある駅周辺の再開発であります。非常に難問題であります。将来の土岐市を考えると、是非実現が必要と思えます。

しかし残念なことに現在は遅々として進んでおらず一日も早く開発が期待されます。次に久尻区に関しては新しい、し尿処理場(清掃センター)が泉町久尻長沢に三年計画で本年一月起工が行われ、平成八年十月末に完成することになっております。またアケガールデン内で約千八百戸の分譲住宅が民間事業として、近く着工の見通しがあります。急務事項としては西小学校下の泉第二公民館の建設が予定されており、泉町連合区会を中心として建設委員会が設置され審議をされていますが、近く位置の決定がされる段階になっております。第四次総合計画では、元寮屋敷を中心とした場所に「安土桃山文化の里と織部の館」が計画されており、大富区については、昨年五月市道三五八号線(都市計画街路大富浅野線)が貫通し、基幹道路国道十九号線と国道二一〇号線への接続が可能となり産業道路及び生活道路として大いに役立つと見られます。今後の課題としては仲森池付近の公園化が加えられ、今後の課題として、河合区内での区画整理事業がもっとも急務とされているが現在のところ進展が望めずこれからの地元に地元住民の皆様と話し合いを継続することになっております。

もう少し詳細に耳より、ご報告を申し上げるべきです。が紙面の都合上、今回はこれ迄の思い、尚補足等については各議員から所属の委員会報告等で記述されることと存じ以上で私の所見といたします。



土岐市議会議員 安藤 正治

先ず阪神大震災で亡くなられた五千三百余名の皆様の実情を心からお祈り申し上げます。又災害に会われた方々の御健闘をお祈り申し上げます。

平成七年二月土岐市も早いもので市制四十周年を迎えました。記念事業、式典も盛大におこなわれ、御出度うと市民の皆様と共に御祝い致したいと思っております。土岐市第四次構想も出来て、各事業も順調に進んで行くと思っております。構想だけで

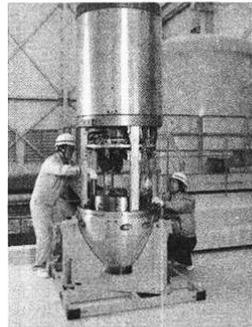
実行が出来ないような構想は何の役にたたないと思っております。この構想に対しては私達十分に審議して、実施するよう検討を重ねて行くと考えております。過去事業が施行されても何か不十分な事があるのかを考えると、私も皆様の支援に依り、早一年有余になりますが、中々思う事が出来なくて自分自身の微力を皆様に対し、市民市民の皆様に対し、各事業も順調に進んで行くと思っております。各地域を

市制四十周年を迎える中、日本無重量総合研究所の完成と同時に宇宙飛行士毛利衛さんの講演を大勢の子供たちと聞き二十一世紀は宇宙時代の到来かと童心にかえったものでした。又世界最先端の核融合科学研究所の建設が急ピッチで進んでおり平成九年度に本格的に稼働を開始する予定であり約五百人規模の研究者が全国から集まるとともに、内外から年間一千人を越す研究者、技術者が来訪すると云われ、この様な世界のトップレベルの研究者、技術者の集まりに直接接触を求め、関連企業群の立地の誘致が期待され、さらに東海環状自動車道の建設と共に東濃研究学園都市の中核都市をめざして、又土岐市の経済基盤である陶磁器産業のさらなる伸展のため陶磁器

ずには土岐市全体を考えて、道路建設、文化施設、環境整備、福祉高令者の老人に対して色々あります。何の事業も施行するに当たり、私達も、皆様方市民市民の協力なくしては出来ません。住み良い環境又街造りをすくには、一人一人の市に対して、町に対して愛情を持ち、その協力が街を良くし、暮らしても環境も造り出すのであります。今後皆様に御希望を申し上げる事がありますが、宜しく配慮を

れるという戦後五〇年間で最悪の大惨事となった。思おこせば十一年前九月十四日朝発生した長野県西部地震で王滝村を壊滅的状態にした地震はマグニチュード六・九でした。偶然かどうかA新聞がその地震の起こる前日の九月十三日付に、七段抜きで伊豆群発地震の周辺を探るといふ記事を載せておりました。

さらに過去十年間での地震の発生を、四九年五月九日マグニチュード六・九の伊豆半島沖地震、五三年一月十四日の伊豆大島近海地震、マグニチュード七、同年の十二月三日カワラザキ沖地震五・四、五五年六月二十九日伊豆半島東方沖地震六・七、この記事でしる王滝村から本市までわずか八十キロであり私は議会一般質問で災害時の飲料水の確保等を訴えた事を思い出しました。阿寺断層とか東海大地震とかこの日本列島いつどこで発生するか解らないのが地震であります。



無重量落下施設

土岐市議会議員 梶間 登志夫

試験場(仮称)セラテクノ土岐の建設、地元泉町では保健福祉センター(仮称)の建設が急ピッチで進んでおります。夢と希望の二十一年世紀をめざして土岐市第四次総合計画が策定され道路、下水道等を重点とした都市基盤の整備教育文化の振興、生活弱者に光をあてた福祉施策の充実等、子や孫の世代をも視野に入れたが現実の諸問題等に全力で取り組んでいる昨今であります。

災害に「よい街づくり」の集まりに直接接触を求め、この度の阪神大震災で亡くなられた多くの方々に心からお悔やみ申し上げます。共に被災者の皆様にお見舞い申し上げます。

一月十七日早朝に発生した大震災は五千人を超える死者を出し三〇万にも及ぶ人が避難生活を余儀なくされ、承りますように。泉第二公民館の問題について、安藤市長区長さんが熱心に進めて居られますが、私達泉町の市議員一体となって協力を致す覚悟で頑張っております。宜しく御願ひ申し上げます。泉町の各町の地区区長の皆様本当に一年間御苦勞様でした。

一瞬にして生命を奪い奪々として築いた財産を破壊する地震、まさに破壊は一瞬、建設は死闘であります。災害に「よい街づくり」、安心して住める魅力ある街づくりに邁進してまいります。公共施設を大切に最後に皆様にお願いしたい事は、永年にわたる要望してきた都市公園にトイレと水道が設置されましたが、過日便器を割る人が居り、非常に残念でなりません。今後、大沼公園や日之出公園等にも設置の計画があります。くれぐれも公共施設を大切に下さることをお願い致します。



地元の新聞 皆様の中日新聞

チラシで潤う家庭経済
明るい家庭に中日新聞

取扱新聞 中日新聞・中日スポーツ・日本経済新聞
中部経済新聞・証券新聞・工業新聞・英字新聞 他20種類

土岐市泉郷町3-35

中日新聞平岡新聞舗
TEL 55-2335

——安心出来るご葬儀を——

名陸自認可 霊柩車事業・通産省認可 全葬連加盟店

総合葬祭 **やまと葬祭**

●JR共済組合指定 ●電気通信共済会指定 ●郵政弘済会指定

土岐市泉岩畑町2-59(駅ウラ)

54-3421
54-8378
FAX 55-0124



土岐市議会議員

南 孝 司

「天災は忘れぬ頃にやってくる。正に虚を突かれた格好の阪神大震災の惨状にお見舞いのことはあまりありません。ただただ一日も早い復興を祈りながら、まさかの時の土岐市の防災体制は大丈夫であろうかと案ずる次第であります。市民のライフラインの確保に全力を上げることは言うまでもありません。そのために

(1) 地域防災計画を直ちに実施するための人員の確保
 (2) 正確な情報を収集し、対策を市民に伝える通信手段の確保
 (3) 復興を円滑に進めるための交通手段の確保等について述べてみたいと思います。

今回の地震で職員が配置に就けず、登庁すら出来ない事態になったことについては、交通システムが直撃された理由はあつたとしても行政の危機管理意識の甘さと、防災マニュアルの徹底不足が指摘されるべきであります。

土岐市に於いても防災訓練は実施されていますが、あくまでも訓練のための訓練の域を出ず、災害が予想を越えた場合に役立つかどうか心配は尽きません。

行政がマヒした、そんな非常時にやっばり頼りになるのは、自分たちの街を守る地域のボランティアしかないと確信致します。

アンケートにより、日本人の多くが、地域に役立つボランティア活動をしたいけれども、何をしたい

一年を振り返って

泉町連合区長会長 安藤 恭彦

「用水が道路の下でつまつて、田んぼに水がこぼれなくなつたこと」

電話がかかってくる、早速役所にでかけ掃除をして貰うような依頼、炎天下で機械を使っての掃除に役所の人と一緒に作業、水が通つてほつとしたものでした。

これは例年になく異常な量の水が田んぼに入ると、生活汚水が田んぼに入る量も多くなりトラブルも出される。このたびに区長がかり出される。いくつも多かつたようです。又、よくつかある溜め池の水も干上がり、水量の調節に気を配り、殆ど池の水位も例年以下、それだけにドコ控や、水門樋の修理と、農業用水に関わる仕事も多かつたような気がします。池の堰堤の保護の上からも堰堤の草刈り、雑木の伐採をシルバセンドーに依頼したり、区長が何でこんな仕事かと思うことも屢々でした。

考えてみると、自治会といつても、都会の自治会と異なり、昔の久尻、大富、定林寺、河合といった村がそのまま区となり、土地の所有権等は市に移管されたものの昔からの村の人たちが守ってきた固有の権利だけが区に引きつがれ、それが区の権益として今も守られているのが現状です。

その主なものが、農業水利権であり、共有林の入会権といったもので、それが区

とも相談しとりあえずは、現物支給という形で順次蓋をかぶせて頂けるようになりました。

住みよい泉町を作るといふこと、住民の皆さんの市への要望事項を聞くことも区の大事な仕事の一つです。住民の希望調査をしてまとめて市に要望書を提出した区もあり、その方法は千差万別でしたが、区長が足繁く市役所通いをしたのも事実でした。カーブミラーの取付け、道路改善と、簡単にやって頂けるものから大きな予算の伴うものまで、その解消はむずかしく、未解決なものは、議員さんへの要望という形で、残念ながら先送りしたのも多くなりました。

区の本年度最後の行事にあげられる初午祭の餅投げ。餅の注文から、飾り桶に使う注連縄の裏の飾り、櫛の葉となかなか準備が大変。そして当日は組織をあげて注連縄作り、最近では作れる人も少なくなり、そこは伝承技術、けつこう見映えのするものができ、さすがと感心することしきりでした。

区の行事と祭りとは切っても切れないものがあります。これは宗教とかいう次元でなく昔から伝承されてきた風俗といったものではないかと思っています。それを伝えていくのも区の大きな役目です。

部落の入口に祀った厄除けの神様、その前で家内安全、村中安全を祈つてつとめ続けられた盆踊り。昔から村の鎮守として祭ってきた社のお祭り。

農業の神様であるお稲荷さんの初午祭り

この泉の三大祭が区の祭り行事の中心です。何とか

「ふるさと泉」のためにも印象深く催すことができたらと露店風フリーマーケットを設けたり往年のふるさと祭りを復活を願って工夫努力をしてきました。定林寺の観音堂の縁日など全くすばらしいものだったと思つていきます。

昔は春と秋に町内一斉清掃日があり、町中大掃除をしたものでした。田舎の方へ行くと彼岸道直して春秋山道の補修を町中総出でしたものでした。

最近では年二回の清掃日を設けるのもむずかしくなりました。二、三の区では、町内一斉清掃日を一回十二設定、側溝や道路、河川清掃を一度にすませたところもありました。

地域連帯感というのは、かけ声だけでは生まれないもの。共通の目的に向かつて共に汗を流してこそ生まれるものです。年一回の清掃活動にこういつた意義を持たせることもこれからは大切ではないかと思つています。

毎月開かれる区会、区の運営の中核をなすものとしてどの区も大事にしています。間近になると、印刷し追われたり、区長も大変です。そこで報告されたり協議されたりしたことを、「区長だより」として回覧し成果をあげている区もあります。何とか見習いたいものです。

他団体との交流も大切なことです。盆踊りや婦人会や子供会の協力を頂いたり、自警団活動に消防団の協力を得たりそれなりに連携をしてきましたが、まだまだ十分とはいえないことが反響しています。

大被害をもたらした阪神大震災、あまりの被害に

ばし呆然「区では義援金を集めないのですか」という問い合わせも聞かえてきました。

弁解がましくなりますが、泉町五区六十一町目が末端まで動くには、班長会、回覧板という手続が必要で早くも二十日の猶予が必要で、その間に色々な団体が緊急募金をされて、班組織を使うと二重募金にもなりかねないということで、町内会の募金の実情に応じた募金活動をするようにしました。動きが遅いとお叱りを受け、反省をしています。

ことは、前年度まで流動してきた東西校下につく公民館を、前年度区長会で作って頂いた公民館建設委員会を中心にして建設用地の再検討をして頂いた結果ひとまず新規購入による用地決定にこぎつづけることができました。後は市当局の政治的事務的手続きによるところで、その正否を議員団におまかせしたところでした。何とか七年度中に用地取得造成建築設計、八年度着工そして竣工といきたいものだと思つています。

しかし、これからの問題は山積。どういう性格の公民館を作るのか。又、公民館活動の中心となる体協や育成会、婦人会等の活動拠点をどこに置くのか、市内には例がないだけに大変なことだと思つています。

毎月第三土曜日に定例の区長会をさせていただきました。報告連絡、協議をすませた後常に各区の実情交流をさせていただきました。住みよい泉町に視点をあててみますと、実に多彩な活動が見られその苦心の程が偲ばれます。又、河合の下水道、定林

いかならない、あるいは方法をみつけられないかと案ずる次第であります。市民のライフラインの確保に全力を上げることは言うまでもありません。そのために

(1) 地域防災計画を直ちに実施するための人員の確保
 (2) 正確な情報を収集し、対策を市民に伝える通信手段の確保
 (3) 復興を円滑に進めるための交通手段の確保等について述べてみたいと思います。

今回の地震で職員が配置に就けず、登庁すら出来ない事態になったことについては、交通システムが直撃された理由はあつたとしても行政の危機管理意識の甘さと、防災マニュアルの徹底不足が指摘されるべきであります。

土岐市に於いても防災訓練は実施されていますが、あくまでも訓練のための訓練の域を出ず、災害が予想を越えた場合に役立つかどうか心配は尽きません。

行政がマヒした、そんな非常時にやっばり頼りになるのは、自分たちの街を守る地域のボランティアしかないと確信致します。

アンケートにより、日本人の多くが、地域に役立つボランティア活動をしたいけれども、何をしたい

いかならない、あるいは方法をみつけられないかと案ずる次第であります。市民のライフラインの確保に全力を上げることは言うまでもありません。そのために

(1) 地域防災計画を直ちに実施するための人員の確保
 (2) 正確な情報を収集し、対策を市民に伝える通信手段の確保
 (3) 復興を円滑に進めるための交通手段の確保等について述べてみたいと思います。

今回の地震で職員が配置に就けず、登庁すら出来ない事態になったことについては、交通システムが直撃された理由はあつたとしても行政の危機管理意識の甘さと、防災マニュアルの徹底不足が指摘されるべきであります。

土岐市に於いても防災訓練は実施されていますが、あくまでも訓練のための訓練の域を出ず、災害が予想を越えた場合に役立つかどうか心配は尽きません。

行政がマヒした、そんな非常時にやっばり頼りになるのは、自分たちの街を守る地域のボランティアしかないと確信致します。

アンケートにより、日本人の多くが、地域に役立つボランティア活動をしたいけれども、何をしたい

とも相談しとりあえずは、現物支給という形で順次蓋をかぶせて頂けるようになりました。

住みよい泉町を作るといふこと、住民の皆さんの市への要望事項を聞くことも区の大事な仕事の一つです。住民の希望調査をしてまとめて市に要望書を提出した区もあり、その方法は千差万別でしたが、区長が足繁く市役所通いをしたのも事実でした。カーブミラーの取付け、道路改善と、簡単にやって頂けるものから大きな予算の伴うものまで、その解消はむずかしく、未解決なものは、議員さんへの要望という形で、残念ながら先送りしたのも多くなりました。

区の本年度最後の行事にあげられる初午祭の餅投げ。餅の注文から、飾り桶に使う注連縄の裏の飾り、櫛の葉となかなか準備が大変。そして当日は組織をあげて注連縄作り、最近では作れる人も少なくなり、そこは伝承技術、けつこう見映えのするものができ、さすがと感心することしきりでした。

区の行事と祭りとは切っても切れないものがあります。これは宗教とかいう次元でなく昔から伝承されてきた風俗といったものではないかと思っています。それを伝えていくのも区の大きな役目です。

部落の入口に祀った厄除けの神様、その前で家内安全、村中安全を祈つてつとめ続けられた盆踊り。昔から村の鎮守として祭ってきた社のお祭り。

農業の神様であるお稲荷さんの初午祭り

この泉の三大祭が区の祭り行事の中心です。何とか

ばし呆然「区では義援金を集めないのですか」という問い合わせも聞かえてきました。

弁解がましくなりますが、泉町五区六十一町目が末端まで動くには、班長会、回覧板という手続が必要で、早くも二十日の猶予が必要で、その間に色々な団体が緊急募金をされて、班組織を使うと二重募金にもなりかねないということで、町内会の募金の実情に応じた募金活動をするようにしました。動きが遅いとお叱りを受け、反省をしています。

ことは、前年度まで流動してきた東西校下につく公民館を、前年度区長会で作って頂いた公民館建設委員会を中心にして建設用地の再検討をして頂いた結果ひとまず新規購入による用地決定にこぎつづけることができました。後は市当局の政治的事務の手続きによるところで、その正否を議員団におまかせしたところでした。何とか七年度中に用地取得造成建築設計、八年度着工そして竣工といきたいものだと思つています。

しかし、これからの問題は山積。どういう性格の公民館を作るのか。又、公民館活動の中心となる体協や育成会、婦人会等の活動拠点をどこに置くのか、市内には例がないだけに大変なことだと思つています。

毎月第三土曜日に定例の区長会をさせていただきました。報告連絡、協議をすませた後常に各区の実情交流をさせていただきました。住みよい泉町に視点をあててみますと、実に多彩な活動が見られその苦心の程が偲ばれます。又、河合の下水道、定林

豊かな住まいづくりと暮らしをご提案！

カネヤマハウジング

〒509-51 土岐市泉森下町2
 TEL (0572)54-3195代 FAX (0572)54-8451

よって長大！ みて長大！ かって長大！

カシヨップ 長大

営業時間
 AM 9:30
 PM 9:00

土岐市泉神栄町2丁目62
 TEL 55-1844

寺の国道横断、大富の神社裏地、久尻の五斗神線の通学路、駅前活性化等、自治会だけでは何ともしようがない問題も多々あり頭を痛めております。議員団とも連携を密にして地域のため、少しでも出口に近づけるよう努力していかねればと反省しきりです。何分にも研究不足ということもあり、もっと積極的に情報を収集し、発信をしていく中で住民の方々の理解を得るといふ活動をしていかねばと強く感じています。

また、旧消防署施設を改装して、事務施設管理公社がここに事務所をかまえることになりました。先日四〇周年記念映画を観る機会を得ました。主役の三人が市内の名所施設をまわるという設定の場面があり、そばにいた方が「泉は少ししか出てこん」と言われたのを憶えています。区の仕事を携わっているとそういう声を多く耳にします。私達自治会の仕事の一つに広報活動というのがあります。市の第四次総合計画にもなされている泉を中心とした遠大な計画を私達が理解し更にそれを広めるという活動をしていくことが弱かったのではないかと素直に反省しています。

一年というの長いようで早いものです。新しく区長という大役を頂いて、無我夢中で過ごした一年でした。

住民の方々の熱意と期待に十分応えることがなかったことを大変申し訳なく思いますと共にそれにかかわらず温かい協力頂き、それこそ大過なく終わらせて頂きましたことを区長一同心より感謝しております。本当に有難うございました。今後とも泉町発展のためご

茸山の管理

泉町市有林管理委員会 田中 鈴夫

昨年十月の始め、三市一町の関係者を集めて、松茸の講習会が泉の主催で土岐市で開かれた。午前にはセラセンターの起工式、そして日本無重量落下施設の竣工式といった泉町の発展につながる行事にも数多く参加させて頂いたことを嬉しく思っています。

また、旧消防署施設を改装して、事務施設管理公社がここに事務所をかまえることになりました。先日四〇周年記念映画を観る機会を得ました。主役の三人が市内の名所施設をまわるという設定の場面があり、そばにいた方が「泉は少ししか出てこん」と言われたのを憶えています。区の仕事を携わっているとそういう声を多く耳にします。私達自治会の仕事の一つに広報活動というのがあります。市の第四次総合計画にもなされている泉を中心とした遠大な計画を私達が理解し更にそれを広めるという活動をしていくことが弱かったのではないかと素直に反省しています。

一年というの長いようで早いものです。新しく区長という大役を頂いて、無我夢中で過ごした一年でした。

住民の方々の熱意と期待に十分応えることがなかったことを大変申し訳なく思いますと共にそれにかかわらず温かい協力頂き、それこそ大過なく終わらせて頂きましたことを区長一同心より感謝しております。本当に有難うございました。今後とも泉町発展のためご

協力賜りますようお願い申し上げます。

泉町市有林管理委員会 田中 鈴夫

利があるだけに、区民の手で管理保全をしていかねばならぬ。茸山制度のあるのは土岐市では泉町のみである。しかしながら茸山制度が始まってから十数年、茸山売却の代金はすべて区の収入となり、山の管理は区長にまかされて来た。任期一年の多忙な区長が山問題に積極的にとりくんでいく事が果たして出来たであろうか。まさに「代金とり得」で山へのお返しはされていなかった。

現在の山は四十数年前の昭和二十年代に、区民、青年団、中学校生徒等が勤労奉仕で植樹したもので、そこに今迄松茸が生えてきたのである。松茸は先輩の努力の賜である。我々にはそれに甘んじて子孫に何も残さず、いつか来る山の荒蕪を見逃してよいものだろうか。

又松茸の生える最盛期は樹齢二十年から四十年迄と言われる。昭和二十年代に植えた松はもうとうとうに盛りはすぎている。

泉町市有林管理委員会としましては、この点に深く思いを致し、各区内「区有林管理委員会」のように区有林をつくり、区長を助けて、茸山の代金を少しでも山へ還へし、植樹及び雑木処理に積極的にとりくむ事が出来ないものだろうかと考えて話し合っている。町民の皆さんのご意見を伺いたい。

泉の歴史シリーズ (24)

明智 照子

水野 輝夫

今日も妻木城址は長い歴史を秘めて静かに眠っている。しかし今やその妻木城がやつと目を覚ます時が来たようだ。妻木氏後裔の妻木良郎氏の遺品寄付の申出による妻木氏歴史の見直し大茶会古田織部の土岐市での織部の日を設ける等の再認識、婦徳に輝く明智照子の紹介等である。

妻木氏は妻木城趾頭彰会により紹介され、古田織部は「風炉のままに」等により土岐市によって大きく取り上げられて来た。私たちがこの際排聖松尾芭蕉をして強く感激させた明智照子の生い立ちを考えてみたい。

明智照子は妻木氏第十二代城主妻木藤右衛門広忠の長女であり、明智光秀の妻である。

それでは妻木藤右衛門とは如何なる人物であろうか。藤右衛門の位牌は今も妻木氏の菩提寺崇徳寺に祀られており、又氏神八幡神社の棟札にもその名が記されている。藤右衛門は織田信長の次男信雄に、武田勝頼討伐のため信州高遠城を攻める等歴戦の勇士であった。最後は我が子安忠と共に娘婿明智光秀に従い、本能寺の変に加わり、山崎の合戦に敗れて、天正十年六月十八日大津西教寺で、六十九才を最後として自刃したことが西教寺の過去帳に記されている。同時に藤右衛門に従っていた多くの我が郷土の一族郎党が戦死又は自刃した。

しかし光秀（二十五才）は婚約を解消せず約束を守

は自刃したのもと思われる。その墓は今も明智一族の碑として坂本城近くの明智氏の菩提寺、天台宗眞盛宗本山西教寺に祀られている。

藤右衛門の長女に生まれたのが明智照子であり、二女瑞木は小里城主小里国太郎に嫁いでいる。小里国太郎は瑞木の叔父頼和（藤右衛門の弟で上郷日東氏の祖）と共に織田信長に仕えていたので、本能寺の変では織田信忠に従い、二条城で共に戦死している。悲しくも骨肉相食む結果となつてしまったのである。

古田織部は藤右衛門の妹の孫であり、照子とはすじか従弟に当たっていると伝えられる。

妻木氏と明智氏は、美濃の土岐氏の初代と言われる大富城主土岐頼貞（妻木八幡神社創建者）より五代目の子孫にあたっている頼秀（明智氏の祖）頼照（妻木氏の祖）兄弟のところで別れている。そして各の五代目の子孫が光秀であり、広忠である。かくの如く明智、妻木両家は、土岐氏の一族として親戚の間柄にあつたので、光秀と照子は許嫁の関係にあつた。

妻木川の清流に育つた照子は天性の美貌に益々磨きをかけていたが、運悪く瘡瘡（天然痘）にかかってしまった。危うく一命をとりとめたものの、その美しき顔の左頬にあばたが残り、見るも哀れな顔になつてしまった。

しかし光秀（二十五才）は婚約を解消せず約束を守

り、照子（十六才）と結婚した。照子は光秀のその心にうたれ、ここに照子が光秀と行を共にした波乱万丈の一生が始まったのである。

編集後記

平成六年度の最終号として今回は泉町におられる市会議員の皆さんに、過去四七年度の歩みや感想をのべて頂きました。市会議員の皆さんには、議会内でいろいろの難をお持ちで苦勞なまじ、役職はすべて省略させて頂きました。

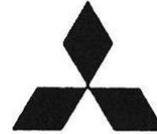
又一ケ年の任期を終えられた各区長の代表として連区長さんに、その歩みを報告して頂きました。皆さんの知り得なかつた事がわかつてよかつたと思います。市会議員及び区長の皆さんには我が泉町のために、ご盡力して頂き有難うございました。皆さんにお届けしている「自治だより」を熱心に読んで頂く方も多く感謝しております。先号に誤字がありました。指摘を頂き有難うございました。今後とも校正に充分気を付けて御期待にそつと努力致しますのでご了承下さい。

区有林について一提言を頂きましたが、一地区の問題でなしに、町全体についてこういう問題があると思ひますので、提言して頂き皆さんの力で解決していくようご意見をお待ちしております。

平成六年度の最終号として今回は泉町におられる市会議員の皆さんに、過去四七年度の歩みや感想をのべて頂きました。市会議員の皆さんには、議会内でいろいろの難をお持ちで苦勞なまじ、役職はすべて省略させて頂きました。

又一ケ年の任期を終えられた各区長の代表として連区長さんに、その歩みを報告して頂きました。皆さんの知り得なかつた事がわかつてよかつたと思います。市会議員及び区長の皆さんには我が泉町のために、ご盡力して頂き有難うございました。皆さんにお届けしている「自治だより」を熱心に読んで頂く方も多く感謝しております。先号に誤字がありました。指摘を頂き有難うございました。今後とも校正に充分気を付けて御期待にそつと努力致しますのでご了承下さい。

区有林について一提言を頂きましたが、一地区の問題でなしに、町全体についてこういう問題があると思ひますので、提言して頂き皆さんの力で解決していくようご意見をお待ちしております。



三菱石油

鈴木石油株式会社

本社 55-3765
 土岐 S S 55-2201
 インター S S 54-6212
 団地 S S 55-1078

結婚式場

金幣社 久尻神社

ウェディング 延 寿

結婚式は是非久尻神社で

土岐市泉町久尻 784 TEL 55-3995

結婚式場

金幣社 久尻神社

ウェディング 延 寿

結婚式は是非久尻神社で

土岐市泉町久尻 784 TEL 55-3995